広報 おびひろ
Public Information OBIHIRO
1 January
平成23年（2011年） No.1040
発行：帯広市
編集：政策推進部広報広聴課
〒080-8670
帯広市西5条南7丁目1番地
電話(0155)24-4111
FAX(0155)23-0151

「夢かなうまち おびひろ」の実現に向けて

帯広市長 米沢則寿

新年明けましておめでとうございます。市長として初めての新春を迎えるにあたり、重責に身の引き締まる思いとともに決意を新たにしています。

昨年は、基幹産業である農業において、記録的な高温などの天候不順の影響を受けたほか、TPP（環太平洋パートナーシップ協定）について情報収集や関係国と協議を開始する姿勢が示されました。厳しい環境が予想されますが、十勝・帯広はこれまで日本の食料供給基地として確固たる地位を築いてきており、未来に向かって発展していく無限の可能性を秘めています。

こうした中、とかち帯広空港のダブルトラッキング化、道東自動車道の帯広～札幌間の全線開通により新たな高速交通ネットワーク時代が到来します。国内外から十勝・帯広を訪れていただく環境が整いつつあります。積極的に情報発信を行い、国際農業機械展や北海道植樹祭などにより、交流人口や物流の拡大を図ってまいります。

本年も市長として「フードバレーとかち」を旗印に、先人たちが築いてきた貴重な財産を最大限に生かし、個性と魅力あふれるまちづくりを進めていく所存です。知恵と行動力を結集し、市民一丸となって「夢かなうまち おびひろ」を創っていきましょう。

市民の皆さまにとりまして、本年が夢と希望と活力に満ちあふれた一年となりますことを心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

年頭のご挨拶

市民参加による豊かなまちづくりを目指して

帯広市議会議長 石井啓裕

市民の皆さまには、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

昨年、帯広市議会は、これまでの議会改革の集大成である帯広市議会基本条例を制定・施行するとともに、その着実な実践を行いました。

市民参加による豊かなまちづくりの実現を目的とするこの条例に基づき、議会広報の新たな手段として9月定例会から議会のインターネット配信を開始するとともに、議員の資質向上を図るための研修会や市議会議員が地域に伺う意見交換会を実施いたしました。特に意見交換会では、いずれの会場におきましても議会や市政に対する市民の皆さまの熱い思いをお寄せいただき、地域住民の代表である議会の役割と責任の重さを改めて認識したところでございます。

国は地域のことは地域に住む住民が責任を持って決めることのできる活気に満ちた地域社会づくりを目指しており、地域住民の代表である地方議会の責任と役割は一層重要になってまいります。

本年も市民の皆さまが安心して生活できる豊かな地域社会の実現に努力してまいりますので、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

この一年が、皆さまにとりまして素晴らしい年でありますよう心からお祈りを申し上げ、新年のごあいさつといたします。

データで知る帯広

11月末の人口と世帯数

人口　168,751人（前月比+60人）
男　80,966人
女　87,785人
世帯　81,455世帯（前月比+52世帯）

11月の火災発生件数

4件（前月比−1件）

11月の家庭ごみ排出量

ごみ量　2,383t（前月比+60t）
資源ごみ(Sの日)量　552t（前月比+26t）

■■ 主な内容 ■■

年頭のご挨拶（干支の絵・瀧川秀敏さん）…… 1
新春対談…… 2～4
「安心して受診」医療給付…… 5
暮らしを支える住民税…… 6
お正月は「ばんえい十勝」へ…… 7

広報おびひろの配布　広報紙は町内会広報委員や班長の皆さまのご協力により、町内会経由で各家庭に配布しています。町内会への加入と地域活動へのご協力をお願いします。
問広報広聴課（市庁舎３階、☎65・4109）、市民活動推進課（市庁舎3階、☎65・4130）

新春対談

新たな一年が始まります。
ことしは、小麦生産者の渡さん、パン製造業の栗原さん、菓子製造業の小川さんをお招きして、十勝・帯広の主要農産物の一つである「小麦」をテーマに、仕事に就くきっかけや小麦への思いなどについて、米沢市長と語っていただきました。

▷詳細　広報広聴課（市庁舎3階、電話65・4109）

（本文中は敬称略。対談は市長応接室で行いました）

幼いころ祖母から開拓の苦労話を聞き、農業を継ぎました

市長　渡さんの家は、代々農業を営んでいたのですか。

渡　私で4代目です。農家の長男で、幼いころ祖母から畑を開拓した時の苦労話を聞いて育ち、自分がやらなければと考え農業を継ぎました。

市長　小麦とのかかわりや栽培などで工夫していることは。

渡　小麦の品種は就農当時のチホクやタクネから現在はホクシン、そして新品種のきたほなみと変わってきています。品種によって種をまく深さや密度、追肥の仕方などが異なります。工夫を重ねて自信を持って栽培できるようになったころに品種が変わるといったことも経験しました。

　地区ごとに異なる気象条件や土質などに合わせて栽培方法を変え、生産性を上げる努力をしています。

十勝産のものを使い自分でお菓子を作りたいと考えました

市長　小川さんがパティシエ（菓子職人）を志したきっかけは。

小川　もともと実家は造り酒屋で、その後、父がそば屋をしています。その影響もありＯＬではなく、食の仕事に就きたいと思っていました。

　フランス料理を考えた時期もありましたが、東京で日本の女性パティシエの第一人者の元で学びました。その後、レストランのデザート部門のシェフとして、また、フランスのチョコレートブランドでＶＭＤとして働きました。

市長　帯広に戻ってきたきっかけは。

小川　以前仕事で、フランスリで開催されたチョコレート典に参加したときに、山が近方のショコラティエ（チョコ菓子職人）は果実が豊富なジャムや果実を使ったチョコト、海が近い地方のショコラエは岩塩の入った塩キャラメルやチョコレートを紹介するなど、自分の地方で採れるものを使って自信を持ってアピールしていたのがとてもすてきでした。そのとき「十勝はお菓子の原料がそろうけど、どういうお菓子ができるだろうか。帯広に帰って自分のお菓子を作りたい」と強く思い帯広に戻りました。

北海道の魅力に引かれ住みたいと考えていました

市長　栗原さんがパン職人を志したきっかけは。

栗原　自転車で日本一周旅行をしたときに北海道の魅力に引かれ、北海道に住み続けたいと考え、知床国立公園近くの宿泊施設で調理の仕事をしていました。

　調理師の免許を取るために一度実家の埼玉県に戻って専門学校に通ったときに、受けた授業の中でパン作りが一番面白かったことがパン屋の道へ進むきっかけです。

市長　パン作りは体力が必要ではないですか。

栗原　自転車で日本一周するくらいですから、体力には自信がありました（笑）。

　卒業後、東京で修業しました。28歳のときにワーキングホリデーでニュージーランドに行き、羊の毛刈りの仕事もしましたが、結局はパン屋に戻り、道内でさらにパン作りの技術を学び11年前に帯広で開業しました。

地場産の小麦への思い

小川　十勝の素材でお菓子を作るにあたり、乳製品・卵・砂糖などから調べ始めましたが、結局は小麦についても取り組み、製粉会社から各品種を取り寄せて試しました。春よ恋やはるきらりは強力粉に近いタイプで発酵菓子やパイにはよいですが、フワフワしたお菓子には向きません。

　小麦粉の味や特徴が一番出やすいのはパウンドケーキのような焼き菓子で、しっかり焼いて粉に熱が入りきると、小麦粉のうまみと香ばしさが出ます。

渡（わたり）　智雄（ともお）さん

帯広市出身。４代続く畑作農家。1985（昭和60）年に就農。2000（平成12）年に経営移譲を受け、小麦、バレイショ、てん菜、大根などを生産。帯広大正農協小麦生産部会の一員として2007（平成19）年に北海道麦作共励会第１部（畑作における秋まき小麦）集団最優秀賞を受賞。現在、帯広大正農協小麦生産部会部会長を務め、農業関係者と共に小麦の品質向上を目指し努力する傍ら、子どもたちの野球の応援が一番の楽しみと語る。

小麦について①　十勝で栽培されている小麦には、9月ごろに種をまいて翌年の8月上旬に収穫する「秋まき小麦」と、4～5月に種をまいてその年の8月中旬頃に収穫する「春まき小麦」があります。北海道で栽培されている春まき小麦の品種名には「春・はる・ハル」が入れられています。

小川　特に中力粉に近いホクシンはうま味があります。また、甘みもあり、口の中でホロホロッと溶けます。一方きたほなみはスポンジについてはホクシンよりもきれいに焼けますが、味は薄いですね。

　国土の面積の違いもありますが、フランスでは２００品種ほどの小麦が生産されています。今、生産現場ではホクシンからきたほなみに完全に切り替わるようですが、一品種になると菓子づくりの幅が狭まります。

　また、新しい品種から製品を作り販売ルートまで確立するには最低でも5～6年かかり、栽培される小麦の品種が少ない上に頻繁に変わると対応が大変です。

栗原　ニュージーランドでは牧場で年老いた羊を食べるためミートソースはとても味が濃く、それに合うのはカンパーニュ（田舎）的なパンと、日本とは異なる食文化があることに気づきました。

　また、私が携わっているパンの技術講習会「ベーカリーキャンプ」で学んだ経験からも、パンは地域の食文化の上に成り立っていると思います。

　市内レストランにフランスパンを卸していますが、各店のシェフは異口同音に「パンは料理とのバランスが重要なものであるから地元の物を使っていきたい」とおっしゃっています。中には完全に十勝産の小麦のパンに切り替えた方もいます。

　私が作っているパンは、北海道産の小麦粉は7割ほどで、お客さんの広いニーズに応えるために他の産地のものも一部使っています。やはり地元産だけでは足りない粉があり、小川さんがおっしゃった通り、いろいろな製品を製造するには品種の多様性が必要です。

渡　農産物の安全・安心が求められている中で、生産現場では農薬の使用制限や、農家ごとに生産履歴を作成するなどの取り組みを行っています。

　農協の小麦生産部会では、ほ場の土壌分析データの蓄積による土づくりから始まり、生育状況などに合わせた肥培管理や、適期収穫のため収穫前の登熟期予測調査を行っています。こうした農家と農協の取り組みから、北海道麦作共励会で大正農協が集団の部で最優秀賞を受賞しました。

　また、天候の状況をみながら病害虫を防除する作業一つを取っても、環境により栽培管理が異なり、試行錯誤しながらこの年になってやっと分かったと思えるようになるなど、農業は経験が必要です。

　きたほなみの栽培は今年初めてでしたが、データを取るにもあまりにも想定外の天候でした。農業試験場のデータに加え、小規模の栽培試験結果しかない上に、各ほ場・土壌の違いにより肥培管理が異なるので、農家も新品種への対応は大変です。また、生産性の向上に加え、消費者においしく食べてもらう小麦を栽培していかなければと思います。

市長　帯広市も現在フードバレーとかちに取り組んでおり、農産物の地産地消が大事な課題です。

　一言で地産地消と言っても、生産者や加工販売業者、そして私のような消費者それぞれの見方があると思います。そして、その方々を「つなぐ」ことが重要です。

　これまでは「大量生産」や「生産効率」が最重要視され、物を持つことで「豊かさ」を実感してきましたが、これからの時代は、選択の幅や質が問われる単なる豊かさではない「幸福」が求められるようになると思います。

　先日、アメリカのコーネル大学で研究者の話を伺ったときにダイバーシティ（多様性）、サスティナビリティ（持続性・持続可能性）がキーワードであると感じました。

　市場の多様性が進む中、生産者・加工販売業者・消費者が歩み寄り、情報やリスクをシェアしていくことが必要であると思います。

　話を伺っていて、皆さんがそのことに気づき始めていることをうれしく感じました。１１００％の食料自給率を誇る十勝の農業が、トップランナーとして新しい市場を創造していくと思います。

帯広・十勝に今思うこと

渡　たくさん生産しても地場消費があまりないと感じています。最近学校給食の話題を耳にします。子どもの学校のＰＴＡの集まりなどでも給食の話になります。子どもたちに、地元のものを使った給食を今以上においしく、たくさん食べてもらうために、個人では難しいですが、生産者やすばらしい加工技術を持った方が連携して協力できる体制があればと思います。

市長　ありがとうございます。学校給食の件は、今いろいろ勉強させてもらっています。学校給食は、栄養士が栄養バランスを考えて献立をたてており、摂取カロリーなど身体の成長や健康な体づくりに配慮しています。彩りや香りなど五感で感じるおいしさの部分も考えていかなければいけないですね。

小川　給食やパンは、おなかを満たすものです。お菓子は心を満たします。なくてもいいものですが、食べると自然と笑みがこぼれ、温かい気持ちにさせてくれます。私は、この仕事について良かったと思います。

市長　最近、私の心が寂しいと思ったら、お菓子を食べてなかったからですね。今年はお菓子を一生懸命食べます（笑）。

栗原　パンも食べてください（笑）。

小川　一昨年・昨年と以前東京で仕事をしていたときにお世話になった本州のお店から北海道フェアをやりたいという話をいただきました。企画書を見ると、欲しい商品はすべて十勝でそろうものでしたので、「十勝フェア」を提案させていただき、小麦粉はもちろんお菓子のほかに十勝産のチーズやワイン、豆、野菜を紹介・販売しました。お客様に大変好評で、北海道や十勝という産地名もとても注目されていました。今も紹介した商品の発注が入ってきます。

小川（おがわ）　尚子（なおこ）さん

帯広市出身。短期大学を卒業して数年後に食の道に進むべく、日本のパティシェールの第一人者近藤冬子氏に師事。その後、真狩村のオーベルジュで働く。日本に出店しているフランスの有名ショコラティエの店では商品の分かりやすさ、選びやすさなどを考えた店舗デザインや演出を行うVMD（ビジュアルマーチャンダイザー）として、また、各部署のパイプ役として働く。カフェの立ち上げなども経験し、2006（平成18）年に帯広で「モン・トレゾール」を開設。十勝の素材でお菓子を作り、積極的に道外へ十勝の素材を紹介している。

小麦について②　北海道で栽培されている秋まき小麦は主に中力粉で麺類や焼き菓子・スポンジケーキなどのお菓子に適しています。春まき小麦は主に強力粉でパンやパイなどのお菓子に適しています。現在は、秋まき小麦でもパンに適した超強力小麦の品種が開発されています。

栗原（くりはら）　民也（たみや）さん

埼玉県出身。高校卒業後、自転車で日本一周をした際に北海道の魅力に引かれ将来は北海道に住むと決める。その後、調理師資格を取得するために通った調理師専門学校でパン作りに興味を持ち、卒業後パン製造の修業を始める。東京や札幌の有名店で製パン技術を深め、1999（平成11）年に帯広ではるこまベーカリーを開業。ベーカリーキャンプや「創り手と作り手をつなぐ会」などに携わり、積極的に生産者と消費者をつなぐ活動を行っている。

市長　十勝に対して道外の方が持つイメージと実際との間に差はないですか。また、逆に道外の方にどんなイメージでPRするとより強く伝わりますか。

小川　「十勝」は皆さん分かりますが、「帯広」は分からないといわれます。「十勝市」があると思っている方もいます。本州などで講習会をするときは、十勝の地図を描いて、使用する食材の産地や帯広市の位置を説明しています。

市長　そういう面では、私ももう少しアピールの仕方はあるような気がします。

小川　十勝・帯広の素材は良い物だと道外から評価されています。地元の方は当たり前すぎて温度差があります。道外にPRすることで、道外の評価が逆に十勝に入ってきて、地元でも評価されるという方法をとった方が早いのではないかと思っています。

　また、道外への売り込みもこちらの生産者の視点で作った物を持っていくよりも、まず、道外のお客さまのニーズを聞いてから生産加工した方が仕事としても早いのではないかと思います。

市長　今までは、収量の増加や病害虫に強いなど生産する側からの品種改良が主でした。最近は、実需者のニーズに沿った品種改良が進んでいるようですね。

栗原　ベーカリーキャンプで、日本一有名なパン屋が十勝で講習をしてくださいました。講習会がメインの来帯でしたが、収穫期の小麦畑を見学するなどの企画もあり、パン業界の人にとっては神様みたいな人を呼べる魅力が十勝にあることを逆に気づかされました。来年度は、地元のパン屋が自分の店で、パン教室をやろうという話があります。情報交換の場になるなどベーカリーキャンプは地元と道外をつなぐ、とてもよい企画になると思います。

市長　十勝・帯広には、いい素材がたくさんあり、これは生産者の努力のおかげです。これからは、その素材をどう使っていくかを考えていかないと、別の産地の品種に負けてしまうこともあるかもしれません。生産者の論理と加工・製造者、消費者の論理のバランスが求められます。

　素材をもっと生かすには、生産者の付加価値ばかりではなく加工・製造者、消費者が付けてくれる付加価値が必要です。そして、それぞれの価値を、相互につなぐことで新しい価値が生まれ、さらに生産者にフィードバックされ、より付加価値が上がっていきます。

　このように、今日4人で話しているだけでも、これだけ広がりがありますよね。同じように市内や十勝の人たちがチャンネルを設けて各方面の意見を違和感なく受け入れられるようにしたいなと感じています。

　例えば、帯広に行ったら、小麦の種類はたくさんあるだとか、パンやお菓子作りをやるなら十勝がすばらしい素材や技術があると日本中から注目されるようになって、それを支えるのが十勝の農業であったりしたら、世界に対しても勝ち残っていけると思います。ここでやらなければいけないタイミングだと思います。

今後の抱負

市長　今後の抱負を聞かせてください。

栗原　今の市長の話と同じですが、十勝を「南魚沼化」したいです。お米は、南魚沼産が有名です。もともと豊かではない生産者たちが努力し品質のよいお米を作ってブランド米の産地になっています。十勝の小麦を、南魚沼のようにブランド化できるよう、できるかぎり生産者や農業関係者の方たちと話をして、つながっていくことでより良いものが作れる環境づくりに役立ちたいです。

小川　より素材の持ち味を生かしたお菓子を作り、道外のパティシエに味わっていただき、十勝・帯広の豊富で良い素材をもっと知っていただきたいです。そして、現場に来て、見て、直接触れ合っていただくきっかけになればと思います。地元生産者と製造者が意見交換できるよう、パイプ役を今後も頑張りたいと思います。

渡　生産者として、栗原さんや小川さんから製造者側の小麦に対する考えを聞いて、とても勉強になりました。いつになるか分からないですが、生産者も製造者もお互いが望むことを実現できるように少しでも私もつなぎ役として力になれればと思います。

市長　いま、フードバレーとかちを進めています。今までの取り組みで「十勝全域で一緒になって」と地理的な部分だけで話していたような気がします。でも、実はそれだけではなく、それぞれの業種の枠を越えて皆一緒になってやらなくてはいけないと思いました。

　3人の今後の抱負に「パイプ役」「つながり」と言葉がありました。十勝・帯広の人が、それぞれの立場でつながりを大切にしていくことで、十勝・帯広の持っている素材や可能性が外の人たちにも伝わり関心を持ってもらい、更に広がって行くと思います。市役所はそのためのプラットホームのようになっていかなければいけないと感じました。皆さん、楽しみながら一緒に取り組んで行きましょう。

栗原さんと小川さんが十勝の小麦で作ったパンとお菓子を味わいながら対談しました。

小麦について③　平成20年の十勝の小麦栽培面積は、4万6400ヘクタールで緑ヶ丘にあるグリーンパーク（約8ヘクタール）5800個分ほどの広さです。小麦収穫量は23万3100トンで全国の26.4％を占めています。（北海道十勝総合振興局「とかち2010資料編より」）

後期高齢者医療制度　75歳以上の方と65～74歳で一定の障害がある方へ

「安心して受診」医療給付

後期高齢者医療制度で受けることができる医療給付や、医療費と介護サービスの自己負担額が高額になった場合に負担を軽減する「高額医療・高額介護合算療養費」についてお知らせします。

▽詳細　国保課（市庁舎1階、保険証の交付・医療は給付係 電話65・4138、保険料は保険料係 電話65・4140）、北海道後期高齢者医療広域連合（電話011・290・5601）

こんな時には申請を

安心して医療を受けていただくために、支払った医療費が高額になったとき、入院時の食事代（非課税世帯のみ）、補装具やコルセットを作ったときなどに、医療費などの給付を受けられる制度があります。（表1）

高額医療・高額介護合算療養費

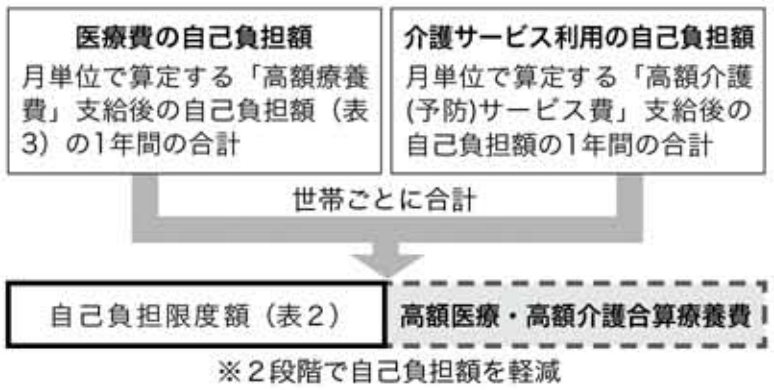
◆1年単位で医療費と介護サービス費の合計が限度額を超えたときに申請により支給

同じ世帯の後期高齢者医療制度の加入者で、毎年8月から翌年7月末までの1年間に支払った「医療費」と「介護サービス費」の自己負担額の合計が、表2の限度額を超えた場合に支給されます。

なお、医療費と介護サービス費のどちらかの負担額が0円の場合は対象になりません。（図1）

また、計算期間中に医療保険が変更になった方や転出・転入をした方は、以前の医療保険や介護保険の「自己負担額証明書」の交付を受けてからの申請となります。

図1　高額医療・高額介護合算療養費のイメージ



※2段階で自己負担額を軽減

◆対象者に申請案内を送付（1月）

支給対象の方で対象期間中に帯広市で後期高齢者医療制度・介護保険に加入し、保険の変更がない方へ申請案内を1月に送付します。

◆申請に必要なもの

①後期高齢者医療被保険者証
②介護保険被保険者証
③振込先口座の通帳
④印鑑
⑤自己負担額証明書（必要な方のみ）

表2　合算療養費の自己負担限度額

所得区分		後期高齢者医療費と介護サービス費の自己負担合算額
現役並み所得者		67万円（89万円）
一　般		56万円（75万円）
住民税非課税世帯	区分Ⅱ	31万円（41万円）
	区分Ⅰ	19万円（25万円）

※（　）内は、平成20年度特例の平成20年4月～21年7月末の16カ月の場合の金額
・区分Ⅱ…世帯全員が住民税非課税の場合
・区分Ⅰ…区分Ⅱのうち、その世帯の各所得額が0円である場合（年金所得は所得控除を80万円として計算）

医療費が高額になったとき（高額療養費）

1カ月に支払った医療費が定められた限度額を超えた場合、超えた額が支給されます。（表3）

◆申請書を送付します

初めて高額療養費に該当された方には、診療月の約3カ月後に支給申請書を送付します。記入・押印後、同封の封筒で返送してください。

なお、一度申請すると、以後、高額療養費に該当した際に自動的に口座へ振り込まれます。

表3　1カ月の医療費自己負担限度額

所得区分		外来（個人単位）	外来＋入院（世帯単位）
現役並み所得者		44,400円	80,100円＋(医療費－267,000円)×0.01 過去1年間で4回目以降は44,400円
一　般		12,000円	44,400円
住民税非課税世帯	区分Ⅱ	8,000円	24,600円
	区分Ⅰ		15,000円

入院するとき

◆世帯全員が住民税非課税の場合、医療費や食事代が減額されます

入院の際は事前に「限度額適用・標準負担額減額認定証」の申請を行ってください。（表4）

◆長期間入院している方

住民税非課税世帯の区分Ⅱに該当する方で過去1年間の入院合計日数が90日を超えると、さらに食事代が減額されます。

表4　入院時の一食あたりの食事代（定額負担）

所得区分			食事代
現役並み所得者・一般			260円
住民税非課税世帯	区分Ⅱ	90日までの入院	210円
		90日以上の入院	160円
	区分Ⅰ		100円

加入者が亡くなったとき（葬祭費）

葬儀を行った方に3万円が支給されます。会葬礼状など喪主の確認がとれるもの・喪主の通帳・印鑑を持参し申請してください。

表1　医療給付

1.一部負担金
医療機関での窓口負担は、医療費の1割（現役並み所得者は3割）です。

2.入院時食事療養費の支給
療養病床以外に入院したときは、食費（1食あたり）の自己負担額について、要件を満たす場合は、申請により減額されます。

3.入院時生活療養費の支給
療養病床に入院したときは、食費（1食あたり）、居住費（1日あたり）の自己負担が定額になります。

4.保険外併用療養費の支給
厚生労働者が定める高度先進医療などを受けたときは、医療保険からの給付が受けられます。

5.訪問看護療養費の支給
主治医の指示で訪問看護を利用したときは、1割（現役並み所得者は3割）の自己負担になります。

6.高額療養費の支給
支払った医療費の自己負担額（月額）が定められた限度額を超えたときは、限度額を超えた分が支給されます。

7.療養費の支給
医師が認めた治療用装具の購入や保険証を持参せず医療機関を受診したときに一度全額支払った場合、申請すると自己負担分以外が支給されます。

8.移送費の支給
医師の指示で緊急かつ、やむを得ず入院・転院で移送費がかかった場合、申請により支給されます。

9.葬祭費の支給
加入者が亡くなり葬儀を行った場合、申請により支給されます。

10.高額医療・高額介護合算療養費の支給
同じ世帯の加入者において、1年間に支払った後期高齢者医療制度と介護保険の自己負担額の合計が表2の限度額を超えたときは、超えた額が申請により支給されます。

平成23年度から保険料の納付方法が年金からの天引き（特別徴収）に変わる場合があります

対象者は平成22年7月以降に75歳になった方や帯広市に転入した方などのうち、次に該当する方です。

・年金受給額が年額18万円以上の方（介護保険料が年金から引かれている方）
・介護保険料と後期高齢者医療保険料の合算額が、介護保険料が引かれている年金の受給額の2分の1を超えない方

※口座振替でのお支払いを申し出た方は除きます。

「年金からの天引き」による保険料納付を希望しない場合は口座振替へ変更できます

現在年金からの天引きをされている方も、口座振替に納付方法を変更することができます。口座振替依頼書・納付方法選択申出書が必要です。

保険料が減免される場合があります

失業により所得が激減した場合など一定の基準を満たす場合は、保険料の減免を受けることができます。なお、減免理由により、必要書類や受付時期が異なる場合があるため、お問い合わせください。

保険証で「臓器提供に関する意思表示」ができるようになりました

臓器移植は、病気や事故で臓器の機能が低下した方に、他の方の健康な臓器を移植して機能を回復させる医療です。

法律の改正により、保険証に「臓器提供意思表示シール」を貼付して、臓器を提供するかしないかの意思表示をすることができるようになりました。ただし、意思表示を「する」「しない」は本人が自由に決めるものであり、記入を義務付けるものではありません。

臓器提供意思表示シールは国保課窓口にあります。

40歳以上の国保と後期高齢者医療制度の加入者へ　「にこにこ健康・福祉フェア2011」の会場で検診車での特定健診やがん検診（肺・大腸・前立腺・胃）などが無料で受けられます。　**日**2月11日(祝)、11時～13時　**場**とかちプラザ(西4南13)　**定員**40人　**申・問**1月4日(火)～31日(月)に(財)北海道対がん協会（☎27・2345）へ。

平成23年度個人住民税（市民税・道民税）の申告

暮らしを支える住民税

平成23年度の住民税の申告受け付けが2月から始まります。また、平成24年度以降の住民税の制度改正についてお知らせします。

▽詳細　市民税課（市庁舎2階、電話65・4120）

住民税は、地方自治体が行う市民の皆さんの日常生活にかかわりのあるさまざまな行政サービスに使われている税金です。その税額は、皆さんの毎年の収入や経費などから計算しています。

正確な税額を計算するため、毎年、住民税の申告書を提出していただく必要があります。

平成23年度個人住民税の申告をお願いします

受付期間　2月1日㈫～3月15日㈫

市民税課のほか、市内のコミセンなどでも移動受け付けをします。（表1）

申告が必要な方

平成23年1月1日現在、市内にお住まいで平成22年中に所得があった方。

国民健康保険・後期高齢者医療制度の加入者は、所得がなくても保険料の算定や病院での自己負担限度額などの判定に申告が必要です。

また、後期高齢者医療制度の加入者がいる世帯は、収入のない方全員の申告が必要です。

申告が不要な方

・勤務先で年末調整をしていて、ほかの所得や所得控除がない方
・所得税の確定申告をする方

平成24年度以降の個人住民税の税制改正

平成22年3月に改正された地方税法のうち、主な内容についてお知らせします。

扶養控除の見直し

所得税において、所得の再配分の見直しや「所得控除から手当へ」の考え方から、子ども手当の創設や高校授業料の実質無料化と、扶養控除の見直しが行われました。

これに伴い、個人住民税についても扶養控除の見直しが行われます。平成24年度から適用され、税額が増加します。

扶養控除の見直し内容（図1）

・16歳未満の年少扶養親族にかかわる33万円の扶養控除が廃止になります。
・特定扶養親族のうち、16歳以上19歳未満の方の扶養控除額が45万円から33万円になります。

介護医療保険料控除が新設

現在ある一般生命保険料控除と個人年金保険料控除のほかに介護医療保険料控除が新設されます。

控除額の上限7万円に変更はありませんが、それぞれの保険料控除額の上限が3万5千円から2万8千円に改正され、平成25年度から適用されます。

ただし、平成23年12月31日までに契約された保険は、旧制度の上限3万5千円が適用になります。

表1　個人住民税の移動申告受付日程

午前 9時30分～11時30分、午後 13時30分～16時30分

日　程	時間	会　場
2月　3日㈭	午前	自由が丘福祉センター（自由が丘3）
	午後	西帯広コミセン（西23南2）
2月　4日㈮	午前	川西農業者研修センター（川西町西2）
	午後	大正農業者トレセン（大正本町西1）
2月　7日㈪	午前	鉄南コミセン（西2南24）
	午後	大空会館（大空町12）
2月　8日㈫	午前	啓西福祉センター（西19南2）
	午後	栄福祉センター（西17北1）
2月　9日㈬	午前	柏林台福祉センター（柏林台南町6）
	午後	森の里コミセン（西22南4）
2月10日㈭	午前	啓北コミセン（西13北2）
	午後	南コミセン（西10南34）
2月14日㈪	午前	東コミセン（東7南9）
	午後	緑西コミセン（西17南4）
2月15日㈫	午前	稲田南福祉センター（稲田町基線8）

図1 個人住民税の扶養控除見直し内容〈 〉内は所得税の数値

償却資産の申告をお忘れなく

固定資産税は、土地・家屋・償却資産にかかる税金です

▷詳細　資産税課（市庁舎2階、電話65・4124）

固定資産税の償却資産申告

市内で償却資産（事業用資産）を所有する事業者は、1月1日現在の所有状況を1月31日㈪までに申告してください。

償却資産の申告は、法令で毎年行うことが義務付けられています。

また、申告の対象となる資産を所有していない場合でも、資産なしの申告をお願いしています。

申告方法

申告書に必要事項を記入し、資産税課へ直接お持ちいただくか郵送してください。申告書と書き方を説明した償却資産申告のしおりは資産税課で配布しています。

また、「eLTAX（エルタックス）」で電子申告することができます。詳しくは㈳地方税電子化協議会のホームページ（http://www.eltax.jp）をご覧ください。

償却資産とは

会社や個人で所有している商店、工場、不動産の貸貸、農業などの「事業」に使われている資産が償却資産です。

土地や家屋、自動車税や軽自動車税の対象となっているもの、営業権などの無形減価償却資産は除きます。

お持ちの資産が申告の対象となるかなど、詳しくはお問い合わせください。

該当する償却資産

●構築物
外構工事、広告塔、外灯設備、アスファルト舗装、店舗内装、土留め工事、屋外給排水設備、物置、花壇、サインポール、塀、門、井戸など

●機械および装置
冷凍・冷蔵装置、受変電設備、各種の処理設備、製造機械、農業用機械、工作機械など

●車両および運搬具
動力運搬車、フォークリフト、クレーン、建設用重機、その他の大型特殊自動車など

●工具、器具備品
事務机、陳列棚、パソコン、エアコン、看板、応接セット、複写機、厨房設備、医療機器、冷房・暖房機器、理美容機器、レジスターなど

ご注意ください

すでに耐用年数を経過し減価償却を終えた資産であっても申告が必要です。

実地調査を行っています

制度理解と適正申告のため、申告書の受理後、地方税法に基づき実地の調査を行っています。

実地調査では、国税申告書の添付書類などの提出をお願いし、申告内容の照合確認をします。

申告漏れなどの資産があった場合は、5年分の税額を更正します。

2011十勝大平原クロスカントリー大会　日高山脈の麓、銀色に輝く大平原や澄み切った青空を背に、クロスカントリースキーの大会を開催します。　**日**3月6日（日）、8時30分開始　**場**岩内仙峡ほか　**費**500～6000円（種目、対象で異なる）　**申・問**1月28日（金）までにスポーツ振興室（市庁舎8階、☎65・4210）へ。

世界で唯一のばんえい競馬

ばんえい十勝

お正月は「ばんえい十勝」へ

ばんえい十勝は元旦から5日間連続で開催します。新春イベントも盛りだくさんです。

お正月は、家族や友人同士でばんえい競馬を楽しみませんか。

▽詳細　ばんえい振興室（西13南9、帯広競馬場内、電話34・0825）

お正月は帯広競馬場へ行こう

ばんえい十勝は、1月1日㈷から5日㈬までの5日間連続で競馬を開催します。1日から3日までは、入場無料です。

巨大なばん馬たちの真っ白な鼻息と、体から立ち上る湯気は、冬ならではの迫力です。ぜひご来場ください。

レースは1日に12レース、おおよそ30分間隔で行われます。

競馬場開門時間　10時

発走時間　第1レース11時20分発走、第12レースは17時30分発走予定

ビッグレース目白押し

2日㈰には、ばんえいを代表する人気馬が出走する伝統の重賞「帯広記念」競走、3日㈪には4歳最強馬決定戦「天馬賞」競走と、ばんえい競馬のスターホースが勢ぞろいし、競い合うビッグレースが2日間連続で行われます。

重賞競走が行われる日の競馬場は、普段を上回る盛り上がりを見せます。

迫力あるレースを間近で楽しめます

とかちむらと馬の資料館もお正月から営業

十勝のおいしい食べ物を味わいながら、迫力満点のばんえい競馬を満喫しませんか。

とかちむらは、年末年始も一部店舗を除き営業します。店舗により営業時間が通常と異なります。

●12月31日㈮は「産直市場」、「スイーツ&セレクト」の一部店舗のみ15時まで営業

●1月1日㈷～3日㈪は一部店舗を除き15時まで営業

●4日㈫・5日㈬は一部店舗を除き通常営業

●6日㈭は「キッチン」のみ休業。そのほかは通常営業

馬の資料館は、12月31日㈮のみ休館。1月1日㈷～5日㈬は15時まで開館します。

初心者でも楽しい

ばんえい十勝のオススメ

バックヤードツアー

ばんえい競馬開催日に、通常は入ることのできない「装鞍所（そうあんじょ）」で馬を間近で見学したり、ゴール横でレースを楽しむことができます。第5レース発走前（13時20分ごろ）までに競馬場インフォメーションへお申し込みください。所要時間45分。参加無料。

フロントツアー

馬下見所（パドック）やばんえい走路、馬券の買い方までばんえい競馬の基本を楽しく学べる初心者向けの場内案内ツアーです。11時、13時、14時ごろに行いますので、とかちむら内でお申し込みください。所要時間30分。参加無料。

ビギナーコーナー

場内中央にある初心者マークが目印のコーナーです。ばんえい競馬のことや馬券の買い方などをスタッフが分かりやすく説明します。

スタッフがばんえい競馬の見どころや馬の話題を楽しく紹介します。団体の参加もお待ちしています（団体は要予約）。

リッキー

広報担当　徳田奈穂子さん

献血にご協力をお願いします

あなたの献血が命を救う

▷詳細　健康推進課（東8南13、保健福祉センター内、電話25・9720）、血液センター帯広出張所（東7南9、電話25・0101）

平成21年度、市内では約1万100人の皆さまから献血のご協力をいただきました。

近年、血液の使用量が増加しており、特に冬期間は血液が不足します。今後も一人でも多くの方のご協力をお願いします。

冬期間は献血者が減少します

冬期間は、風邪などによる体調不良や服薬などで献血をお願いできない方が増えます。また、雪などの悪天候で移動献血車が巡回できなくなる場合や外出を控える方が増えるため献血者が減少します。

血液の使用量が増加しています

平成19年度と比較して平成21年度の十勝管内での血液使用量（赤血球製剤）が約13％増加しています（図1）。

図1　十勝管内の赤血球製剤供給数

血液の使用量増加の要因は、高齢者人口の増加と考えられ、今後もこの傾向は続くことが予想されます。

血液製剤の約85％は50歳以上の方々に使用されています。一方、献血者の約80％が50歳未満の世代です。

少子高齢化が進み、献血者比率もこのままで推移すると医療に重大な支障をきたす恐れがあります。特に若い世代の献血者の確保が必要です。

献血にご協力をお願いします

すずらん献血ルームでは、年末年始を除く毎週日曜日に献血の受け付けをしています。

また、移動献血車の詳しい日程は、血液センターまでお問い合わせください。

北海道赤十字血液センターのホームページ（http://www.hokkaido.bc.jrc.or.jp/）からも確認できます。

すずらん献血ルームからのお知らせ

冬期間の血液不足を解消するため臨時で献血の受け付けを行います。

◆臨時献血の受け付け◆

日1月3日㈪、9時～12時と13時～17時

場すずらん献血ルーム（東7南9）

司法書士無料法律相談会（予約制）　相続・不動産登記・会社登記・多重債務・民事訴訟・離婚などの家事事件に関する手続き・成年後見などの相談に無料で応じます。

日1月25日（火）、18時～20時　**場**とかちプラザ（西4南13）　**申・問**1月18日（火）までに、電話で釧路司法書士会（☎0154・41・8332）へ。

今月のお知らせ 1 Information

日…日時　**場**…場所　**費**…費用　**申**…申し込み
問…問い合わせ　☎…電話　F…FAX　✉…Eメール
HP…ホームページ

詳しくは担当課へお問い合わせください。
市役所代表（電話 24・4111、FAX 23・0151）
申し込み方法など、特に記載のないものは、参加無料で、当日直接会場へ。

携帯電話 イベントガイド（毎月25日更新）

メールマガジン 登録サイト（毎週配信）

往復はがきなど申し込み時の記載事項

①教室名（希望コースなど）
②住所（郵便番号も）
③氏名（ふりがな）
④電話番号（携帯など確実に連絡できる番号）
⑤生年月日
⑥性別
⑦年齢（高校生以下は、学校名・学年、年中・年長なども）
⑧保護者氏名（小学生以下の場合）
⑨返送先（往復はがきの場合）

申し込みは1人（組）1通。応募多数の場合は抽選。
直接窓口で申し込まれる場合は、返信用のはがきを持参。

イベント EVENT

平成23年消防出初式

内容消防団員・職員と消防車両の行進や、放鳩式（ほうきゅうしき）、木遣り（やり）やはしご乗り。当日の朝に消防団員を集めるサイレンが鳴ります。9時30分～10時は、消防庁舎前の道路を交通規制。
日1月4日㈫、9時30分～11時
場消防庁舎（西6南6）
問消防本部総務課（消防庁舎3階、☎26・9121）

スピードスケート五輪金メダリスト清水宏保氏の講演会

内容帯広市出身で、長野五輪スピードスケート男子500メートル金メダリスト、清水宏保氏が「限界に挑み続けて」と題して、スケートを始めたきっかけや練習・競技の原動力、多くの挫折とそれを克服したときの喜びなど、金メダル獲得までの軌跡を紹介。
日1月15日㈯、13時30分～15時30分
場とかちプラザ（西4南13）
定員先着350人
問スポーツ振興室（市庁舎8階、☎65・4210）

女性のためのなんでも相談所

内容女性が抱えるさまざまな問題に女性の人権擁護委員が相談に応じる。秘密厳守。
対象女性
日1月21日㈮、13時～15時30分
場とかちプラザ（西4南13）
問男女共同参画推進課（市庁舎3階、☎65・4134）

キッズ・プレーグラウンド

内容いろいろな国の親子に出会える遊びの広場。外国の絵本、童謡、手遊びなどの紹介。
日1月22日㈯、10時～11時30分
場・問森の交流館・十勝（西20南6、☎34・0122）

第23回インターナショナル・トーク

内容ナイジェリア出身の帯広畜産大学留学生が同国の文化・歴史などを紹介し、参加者と交流を行う。
日1月22日㈯、19時～21時
定員先着25人
場・申・問1月4日㈫～22日㈯に、電話で森の交流館・十勝（西20南6、☎34・0122）へ。

若年認知症を理解するための講演会

内容「このまちでいつまでも自分らしく」をテーマに、若年認知症への理解を深める。医師の講演、若年認知症の介護家族の体験談。
日1月26日㈬、13時30分～15時45分
場・問地域包括支援総合センター（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9702）

「学校給食週間」市民試食会

内容地元食材や姉妹都市の徳島市の特産物を使用した献立を味わう。
日1月27日㈭、12時～13時
定員先着25人
費351円
場・申・問1月11日㈫～19日㈬に、電話で学校給食共同調理場（西22北2、☎37・5800）へ。

第78回虹コン「ピアノ・デュオ・コンサート」

内容西川由華氏と高畠由香氏がラフマニノフ作曲「2台のピアノのための組曲第2番」などを演奏。
日1月30日㈰、15時～16時30分
場・問とかちプラザ（西4南13、☎22・7890）

児童会館のイベント

場・問児童会館（緑ヶ丘2、☎24・2434）

◆もっくん教室
対象幼児と保護者
日・内容①1月5日㈬、カラフルパラシュート、②19日㈬、紙皿で作ろう、10時～11時30分

◆親子科学実験教室
日・内容①1月9日㈰、電子顕微鏡で見てみよう、②16日㈰、ゴムタンク車を作ろう、1回目13時30分～14時20分、2回目14時40分～15時30分

◆きらきらパペットシアター
内容幼児・小学校低学年向きの人形劇公演。
日1月15日㈯、14時～15時

◆親子おもしろ教室「かめくんとおさんぽ」
内容使用済み乾電池と輪ゴム、牛乳パックを使い、動くカメを作る。
対象幼児・小中学生と保護者
日1月22日㈯、9時30分～11時30分

◆第9回星の観察会「オリオン大星雲」
内容プラネタリウムで学習後、天体望遠鏡で観察。天候不良時はプラネタリウムのみ実施。
日1月29日㈯、19時～20時30分

◆児童会館冬まつり
内容おびひろ氷まつりに協賛し、工作教室、サイエンスショー、各実験教室、放送局催しなど。

百年記念館のイベント

日1月30日㈰、10時～15時
場・問百年記念館（緑ヶ丘2、☎24・5352）

◆百年記念館ロビー展「楽しくデッサン教室」作品展
内容飯田和幸氏を講師に開催したデッサン教室受講者の作品展。色紙にデッサンしたものを水彩絵具で仕上げた花の絵と風景画。
日1月6日㈭～30日㈰、9時～17時30分

◆第29回郷土美術展
内容十勝管内で創作活動を行っている方の絵画・工芸などの展示。
日1月14日㈮～30日㈰、9時30分～17時（最終日は15時30分まで）

◆博物館講座「十勝のアイヌ伝説」
内容学芸員が日高山脈や十勝川など自然の中に残されたアイヌの伝説を紹介。
日1月22日㈯、14時～15時30分

第48回おびひろ氷まつり

大氷雪像や滑り台、市民氷雪像コンクール、氷のお面展、雪の迷路などの催しがあります。
期間中は競馬場南側を駐車場として開放します。身障者の方は、緑ヶ丘公園内の身障者駐車場をご利用ください。

日1月28日（金）～30日（日）
場緑ヶ丘公園（緑ヶ丘2）
◆無料送迎バス経路
（30分ごとに運行予定）
・緑ヶ丘公園会場～競馬場前
・緑ヶ丘公園会場～帯広駅北口～かじのビル前～中央公園～帯広厚生病院

◆市民氷雪像コンクール参加者募集
・部門　雪像・氷像一般参加の部、雪像・氷像コンクールの部
・製作期間　1月22日（土）～26日（水）5日間
・展示期間　1月30日（日）まで
・申込期限　1月7日（金）

申・問観光課（市庁舎7階、☎65・4169）または、帯広のまつり推進委員会（西2南12、エスタ東館2階、帯広観光コンベンション協会内、☎22・8600）

帯広税務署「来署して相談する場合はご予約を」　申告や納税などの相談で、事実関係を詳しくお聞きする必要があるなど電話での相談が難しい場合は、面談で相談をお受けしています。事前に相談日時を予約して税務署にお越しください。　**問**帯広税務署（西5南6、☎24・2161）

図書館のイベント

問図書館（西2南14、☎22・4700）

◆第33回「おはなしのせかい」
内容語り、紙しばい、絵ばなしなどお話しがいっぱい。
日1月8日(土)、13時～15時
場図書館

◆冬休みおはなしと紙しばいのつどい
内容お話で子どもの想像力・豊かな感性を育む。開催時間は約1時間です。

1月12日（水）	
森の里コミセン（西22南4）	10時30分～
西帯広コミセン（西23南2）	13時～
啓北コミセン　（西13北2）	14時30分～
1月13日（木）	
南コミセン（西10南34）	10時30分～
東コミセン（東7南9）	13時～

◆冬休み子ども図書館のつどい
内容人形劇サークル「むぎの穂」の人形劇「赤ずきんちゃん」など。
日1月16日(日)、11時～12時
場・申1月7日(金)～15日(土)に、電話で図書館へ。

趣味・教養 HOBBY CULTURE

冬休み親子工作教室

内容公園や街路樹のせん定した枝を使い、親子で工作を行う。
対象小学生と保護者
日①1月6日(木)、②7日(金)、10時～12時
定員各先着16組
場・申・問1月5日(水)までに、電話でみどりと花のセンター（緑ヶ丘2、☎21・3172）へ。

小学4～6年生の動物園一日飼育係

内容飼育体験と授業を通じて、動物の知識と動物園の役割を学ぶ。
対象小学4～6年生
日2月5日(土)、10時30分～15時
定員12人
場・申・問1月4日(火)～22日(土)に、往復はがきに「申し込み時の記載事項」（8頁）と開催日を書いて、動物園（〒080・0846緑ヶ丘2番地、☎24・2437）へ。

図書館からのお知らせ

場・申・問各申込期間までに、電話で図書館（西2南14、☎22・4700）へ。

◆しらべものマスター
内容帯広畜産大学附属図書館との連携事業で食べ物について図書館の資料を使って調べ、実験をする。
対象小学生
日1月14日(金)、13時30分～15時30分
定員先着20人
申込期限1月13日(木)

◆語り手育成講習会ステップアップ編「学校での読み聞かせコース」
内容2つのステップ「小学校での読み聞かせの方法・作品紹介」、「市内2サークルによるお話し会実演・活動紹介」を行う。どちらか一方のみの参加も可能。
対象小学校で読み聞かせ活動をしたい方・既に活動をしている方
日2月2日(水)、16日(水)、計2回、10時15分～11時45分
定員先着50人
申込期間参加する日の前日まで

生涯学習課からのお知らせ

対象18歳以上
場・申・問各申込期間に、受講料を添えて直接、生涯学習課（西4南13、とかちプラザ内、☎22・7915）へ。

◆プラザ・エンジョイスクール「カラーセラピー　色を楽しむ♪」
日2月～4月の第2・4火曜日、全5回、10時15分～11時45分
定員先着20人
費4000円（教材費別途）
申込期間1月12日(水)～27日(木)

◆楽しくわかりやすい パソコン講座（2月）
開催時間午前（10時～12時）、午後（13時30分～15時30分）、夜間（18時30分～20時30分）

講座名	開催日
ワード2007基礎	火・木、午前
エクセル活用	火・木、午後
ワード・エクセル基礎	火・木、夜間
エクセル2007基礎	水・金、午前
インターネット＆メール	水・金、午後
資格をめざす方のワードⅡ（基礎）	水・金、夜間

定員各先着20人
費4000円（5回コース、テキスト代別途）
申込期間1月5日(水)～20日(木)

市民大学講座

定員先着各50人
場・申・問各初回開催日までに電話で生涯学習課（西4南13、とかちプラザ内、☎22・7915）へ。

◆第27集「不登校・登校拒否の子どもたちの過去・現在・未来」（全1回）
内容講師は不登校・登校拒否と向き合う親の会「はるにれの会」。
日1月13日(木)、18時30分～20時

◆第28集「とかち地域学～地史と歴史のトピックス～」（全4回）
内容澤村寛氏（足寄動物化石博物館館長）、後藤秀彦氏（帯広大谷短期大学講師）を講師に、帯広・十勝の地形・地質や幕末の歴史などを学ぶ。
日1月18日(火)～21日(金)、18時30分～20時
費500円

◆第29集「心を探る～心理学と精神保健～」（全3回）
内容池添博彦氏（帯広大谷短期大学名誉教授）を講師に、心を健やかに保つ方法と理論を学ぶ。
日1月26日(水)～28日(金)、18時30分～20時
費500円

放送大学4月入学生の募集

　放送大学はCSデジタル放送などを利用した通信制の大学です。学生はとかちプラザでも無料で授業を視聴できます。また、放送授業のビデオやDVDなどの貸し出しも行っていますので、自宅などで自分のペースで学習できます。募集要項は市庁舎やとかちプラザ、コミセンで配布しています。
申2月28日(月)（必着）までに、願書を放送大学本部（〒261・8586千葉市美浜区若葉2丁目11番地、☎043・276・5111）へ。
問生涯学習課（西4南13、とかちプラザ内、☎22・7915）または放送大学北海道学習センター（☎011・736・6318）へ。

社会課からのお知らせ

場グリーンプラザ（公園東町3）
定員各先着30人
費1150円
申・問各申込期限までに費用と認定証を添えて、直接社会課（市庁舎2階、☎65・4146）へ。

◆赤十字救急法救急員資格継続研修会
内容・対象平成19年4月以降に赤十字救急法救急員の資格を取得し、資格を取得してから2年以上経過した方は、この研修会を受講することにより資格をさらに3年間継続。
日1月16日(日)、9時～13時30分
申込期限1月14日(金)

◆赤十字水上安全法救助員Ⅰ資格継続研修会
内容・対象平成19年4月以降に赤十字水上安全法救助員Ⅰの資格を取得し、資格を取得してから2年以上経過した方は、この研修会を受講することにより資格をさらに3年間継続。
日2月6日(日)、9時～13時
申込期限2月4日(金)

認知症サポーター養成講座

内容認知症に関する知識と地域での役割について学ぶ。講師は藤原恭子氏（地域包括支援センター帯広市社会福祉協議会）で、個別相談可。
日1月18日(火)、10時～12時
場啓親福祉センター（西14北7）
定員先着30人
申・問1月17日(月)までに、電話で地域包括支援総合センター（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9702）へ。

障害者生活支援センターからのお知らせ

申・問いずれも1月4日(火)～19日(水)に、電話またはファクスで障害者生活支援センター（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9701、F25・9703）へ。

◆折り紙教室
内容折り紙と和紙小物を制作。
日1月21日(金)、10時～12時
場保健福祉センター
定員先着10人
費200円（材料費）

◆視覚障害者地デジ説明会
内容データ放送の活用法など。
対象市内在住の視覚障害のある方
日1月23日(日)、10時～11時30分
場北海点字図書館（東2南11）
定員先着10人

◆書道ミニ講座
内容1年の目標を書で表す。
対象市内在住の障害のある方
日1月25日(火)、10時～12時
場保健福祉センター
定員先着10人
費200円（材料費）

所得税の還付申告無料相談会　還付申告者（給与所得者・年金所得者）が対象で無料です。当日、直接会場へお越しください。　**日**2月1日（火）～4日（金）、9時30分～15時30分　**場**とかちプラザ（西4南13）　**問**北海道税理士会帯広支部（☎24・0751）

冬の高齢者ドライビング体験会

内容冬の悪路を再現したコースを教習車で走行し、指導員からアドバイスを受けるほか、運転シミュレータなどの検査機器を体験。
対象市内在住の65歳以上
日1月27日㈭、9時～12時
場帯広第一自動車学校（稲田町東1線）
定員先着50人
持ち物印鑑
申・問1月4日㈫～20日㈭に、電話で安心安全推進課（市庁舎3階、☎65・4131）へ。

普通救命講習

内容出血時の止血法や突然の心臓停止、呼吸停止時における救命手当、AED（自動体外式除細動器）の使用を含めた心肺蘇生法を学ぶ。
日・場①2月9日㈬、13時30分～16時30分、消防庁舎（西6南6）、②19日㈯、9時～12時、南出張所（西17南41）。①は消防庁舎駐車場を使用できませんので、市役所駐車場をご利用ください。
定員①先着50人、②先着30人
費500円
申・問①は2月2日㈬、②は12日㈯までに、電話で消防署よぼう普及課（☎26・9131）へ。

健康・子育て HEALTH PARENTING

1月の乳幼児健診

①は1～10日生まれ、②は11～20日生まれ、③は21～31日生まれの健診日。受け付けは12時45分～13時15分。1歳6カ月児健診と3歳児健診は、希望する方にフッ素塗布の受診カードを発行。
場・問子育て支援課（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9722）

◆4カ月児健診とBCG接種

健診後に絵本、子育て支援情報資料を提供。健診に来られない方で希望者には、子育てガイドブックや絵本を先輩ママさん訪問員がお届け（**問**子育て支援課、☎25・9700）。
対象平成22年9月生まれ
日①1月13日㈭、②20日㈭、③25日㈫

◆1歳6カ月児健診

対象平成21年6月生まれ
日①1月5日㈬、②6日㈭、③12日㈬

◆3歳児健診

対象平成19年12月生まれ
日①1月18日㈫、②19日㈬、③26日㈬

季節移動労働者健康診断

内容身体測定、胸部X線、血圧、肝機能など。申し込み後、指定の病院で受診。
対象市内在住の十勝管外で1カ月以上働く人で、就労先の企業などで検診が受けられない方
費1000円
申・問3月31日㈭までに、費用を添えて工業労政課（市庁舎7階、☎65・4168）へ。

ほんわかファミリー教室

内容妊娠中の栄養摂取のお話、赤ちゃんのお風呂の練習、パパの妊婦体験など、出産・育児を学ぶ。
対象平成23年5月初出産予定の夫婦
日1月16日㈰、13時～15時40分
場・申・問1月14日㈮までに、電話で子育て支援課（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9722）へ。

健康推進課からのお知らせ

場・申・問各申込期限までに電話で健康推進課（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9721）へ。

◆リラクゼーション室のご案内

内容リラクゼーションカプセルやメディカルチェアでくつろぎながらの酸素吸入など、リラクゼーション体験。
日午前（9時30分～11時30分）は水・金・第2土曜日、午後（13時30分～15時30分）は月・水曜日、夜間（19時～20時30分）は1月6日㈭、17日㈪で、年始は1月5日㈬から開始。
申・定員リラクゼーションカプセルのみ要予約（利用日の1カ月前から）。午前6人、午後6人、夜間4人。休室日もあるため、要確認。

◆からだスッキリ講座

内容「おなかすっきりメタボ予防」をテーマにした保健師の講話と、ストレッチや筋トレなどの運動。
日①1月12日㈬、②31日㈪、13時30分～15時
定員各先着20人
申込期限①1月11日㈫、②28日㈮

◆健康プラン1日コース

内容食事調査・体力測定・ストレス度チェックなどを行い、結果に基づいて食生活や運動などの健康づくりのアドバイスを受ける。
日①1月20日㈭、18時30分～21時、②25日㈫、9時30分～12時
定員各先着8人
申込期限①1月19日㈬、②24日㈪

スポーツ SPORTS

森のクロスカントリースキー初心者講習会

対象初心者、高齢者、障害のある方など
日1月9日㈰、8時45分～16時
場帯広の森・はぐくーむ（南町南9線49）
定員先着50人
持ち物スキー道具一式
申・問12月28日㈫までに、電話でスポーツ振興室（市庁舎8階、☎65・4210）または帯広の森・はぐくーむ（南町南9線49、☎66・6200）へ。

暮らし LIVING

解氷機の取り扱いにご注意ください

凍結した水道管の解氷作業での、電気解氷機が原因と思われる火災事故の事例があります。これらは、壁内のステンレスフレキシブル管が電気抵抗差により過熱し、断熱材から出火したものとみられています。解氷作業は専門業者に依頼することをお薦めします。

◆事故防止のために

・解氷機の取扱説明書や本体に記載されている注意事項などを熟読し、適切に使用しましょう。
・ステンレス管（特にフレキシブル管）が使用されていないことを確認してください。
・危険性を十分に認識した上で解氷機を使用してください。
・給水装置を破損させる恐れがありますので、知識のある方の説明を聞いて使用してください。
問水道課（市庁舎1階、☎65・4215）

ペットのふんは持ち帰りましょう

歩道や散策路を散歩する場合は、ペットのふんは持ち帰りください。降雪の季節になり、雪の中に放置されたふんは春まで残り、利用者の迷惑になります。
問管理課（市庁舎6階、☎65・4177）

清掃事業課からのお知らせ

問清掃事業課（西24北4、☎37・2311）

◆1月10日㈪「成人の日」はごみを収集します

午前9時までに分別ルールに基づいて、決められたごみステーションに出してください。

◆ごみステーションの除雪にご協力を

冬期間のごみ収集を迅速に行うため、除雪やごみネットなどの管理にご協力をお願いします。

案内 INFORMATION

百年記念館の「リウカ」が1月15日リニューアルオープン

アイヌ民族文化情報センター「リウカ」は、1月15日㈯に百年記念館の2階から1階へ移転します。
1階口ビーに入口を設置し、入室しやすくするほか、展示室は今までよりも広くなります。
移設作業などのため、1月3日までの年末年始の閉館に続き、4日㈫～14日㈮は休室します。
場・問百年記念館（緑ヶ丘2、☎24・5352）

交通問題市民委員会の委員の募集

内容道路交通や交通安全などについて広く意見をいただくため、一般の委員を募集。
対象市内に1年以上住んでいる20歳以上の市民で、年1～4回程度の会議に出席でき、帯広市や他の行政機関の附属機関などの委員になっていない方
任期平成23年3月から2年間（予定）
定員2人（選考の上決定）
報酬日額8500円
申・問氏名、住所、年齢、性別、職業、電話番号、市民となった時期、応募の動機、ボランティアなどの活動経験、道路交通と交通安全に関する意見をおおむね800字以内にまとめたレポートを、1月4日㈫～31日㈪（必着）に、直接または郵送で安心安全推進課（〒080・8670西5条南7丁目1番地、市庁舎3階、☎65・4131）へ。

骨粗しょう症検診実施医療機関が変更になりました　西山整形外科医院での骨粗しょう症検診は、閉院のため実施できなくなりました。検診を希望される方は他の実施医療機関をご利用ください。　**問**健康推進課（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9721）

平成23年度消費生活モニターの募集

申・問1月4日㈫～24日㈪に、電話で安心安全推進課（〒080・8670西5条南7丁目1番地、市庁舎3階、☎65・4132）へ。後日、指定の履歴書を直接または郵送で提出。
任期4月1日～平成24年3月31日

◆帯広市消費生活モニター
内容生活関連物資の小売価格調査など。
対象市内在住の20歳以上63歳未満
定員12人（選考により決定）
報酬未定（平成22年度は年額2910円）

◆北海道消費生活モニター
内容生活必需品の小売価格調査、各種アンケート調査など。
対象市内在住の20歳以上
定員5人程度（選考により決定）
報酬月額1800円（予定）

医療機関などの窓口での一部負担金の減免

国民健康保険の被保険者で次の事由に該当し、一時的に著しく収入が低下し、生活が困難になった時には、医療機関の窓口での自己負担額が免除される場合があります。
・震災、風水害、火災、その他これらに類する災害により、資産に重大な損害を受けた場合
・事業の休廃止、失業などにより収入が著しく減少した場合など
問国保課（市庁舎1階、☎65・4138）

乳幼児等の医療費助成を拡大

平成23年4月1日から小学生の市町村民税非課税世帯の通院に係る医療費の自己負担分を全額助成します。なお、3月開催の市議会の議決後の実施になります。

申請方法
○既に申請している方（受給者証をお持ちの方）
新しい受給者証を平成23年3月末までに送付します。手続きは不要です。
○申請していない方（受給者証をお持ちでない方）
保護者の方へ平成23年1月中旬に乳幼児等医療費受給資格者申請書を送付します。記入し必要書類を添えて郵送か窓口へ提出してください。資格審査後、平成23年3月末までに受給者証を送付します。

平成23年4月以降の乳幼児等医療費助成内容

	0歳～6歳（就学前まで）	6歳～12歳（小学校卒業前まで）	
		課税世帯	市町村民税非課税世帯
入院	自己負担額の全額	自己負担額の2/3（月額上限 44,400円）	自己負担額の全額
入院外	自己負担額の全額	助成対象外	

問こども課（市庁舎3階、☎65・4160）

国民年金の付加年金

月々の定額保険料（平成22年度1万5100円）に付加保険料（月々400円）を追加して納めると、老齢基礎年金に付加年金が上乗せされて受け取ることができます。
将来多く年金を受けたいと希望するときはご利用ください。
対象国民年金の第1号被保険者（国民年金基金の加入者や保険料の免除・猶予制度を受けている方は利用できません）
付加年金の年間受け取り額
200円×付加保険料納付月数（例えば10年間納めた場合は、年額2万4000円）
申・問戸籍住民課国民年金係（市庁舎1階、☎65・4143）、帯広年金事務所（西1南1、☎25・8113）

ビジネス BUSINESS

まちなか居住等総合案内窓口を開設しました

「まちなかに定住したい」「まちなかに住み替えたい」「まちなかで開業したい」などの相談をアドバイザーがお受けします。窓口に直接お越しください。
日毎週火曜・木曜・土曜日（年末年始を除く）、13時～17時
場市民活動交流センター（西2南8、ふじまるビル8階）
問商業まちづくり課（市庁舎7階、☎65・4164）

農地に建物を建てる場合は農業委員会で手続きを

平成21年12月に改正農地法が施行され、農地の転用規制が厳格化されました。
農地に建物を建てる場合は転用許可申請または届け出が必要になります。許可を受けずに建物を建てると、違反転用となり厳しい罰則を受けることがあります。
農地転用を考えている方や工事に関係する事業者は、事前にお問い合わせください。
問農業委員会事務局（市庁舎7階、☎65・4224）

中継点 RELAY POINT

帯広の森・はぐくーむからのお知らせ

場・申・問各申込期限までに、電話で帯広の森・はぐくーむ（南町南9線49、☎66・6200）へ。

◆子ども木工体験
内容冬休みの工作に、帯広の森の木を使って小物作りを行う。
日①1月8日㈯、②9日㈰、10時～12時
定員各先着15組（小学生以下は保護者同伴）
申込期限1月7日㈮

◆スキーで冬の森へ出かけよう
内容スキーで散策しながら、冬の森を楽しむ。初心者も参加可能。
日1月23日㈰、10時～12時
定員先着20人（小学生以下は保護者同伴）
申込期限1月22日㈯

ソーセージ・チーズなどの加工体験

内容地元の安全・安心な農畜産物を使った加工体験。
場・申・問各申込期限までに電話で畜産物加工研修センター（八千代町西4線、☎60・2514）へ。

◆親子ソーセージ加工体験（約500グラム相当）
対象小学生以上と保護者
日1月9日㈰、10時～14時
定員先着10組
費親子1組1800円
申込期限1月6日㈭

◆ソーセージ加工体験（約300グラム相当）
日1月22日㈯、10時～14時
定員先着30人
費1000円（高校生以下700円）
申込期限1月20日㈭

◆チーズ加工体験（約1キログラム相当）
日1月29日㈯、10時～16時
定員先着10人
費3000円
申込期限1月27日㈭

帯広の森市民農園サラダ館講習会

場・申・問各申込期限までに、往復はがきに「申し込み時の記載事項」（8頁）と、手作りみそ教室については第1・第2希望日を書いて、帯広の森市民農園サラダ館（〒080・2472西22条南6丁目6番地、☎36・8095）へ。

◆初めての押し花教室
日1月21日㈮、2月18日㈮、3月18日㈮、計3回、10時～12時
定員20人
費6300円（材料費込み）
申込期限1月14日㈮

◆パーチメント教室
日1月22日㈯、2月19日㈯、3月19日㈯、計3回、13時～15時
定員20人
費6300円（材料費込み）
申込期限1月15日㈯

◆手作りみそ教室
内容十勝産大豆を使ったみそ作り。
日①2月8日㈫、②14日㈪、③15日㈫、④21日㈰、⑤22日㈫、10時～11時30分
定員各20人
費4500円（材料費込み）
申込期限1月20日㈭

雪中パークゴルフ大会

内容第13回財団杯兼帯広市健康スポーツ推進委員会杯として、男性・女性の各部ごとに36ホールで競う。降雪などにより競技中止の場合あり。
日2月6日㈰、8時30分～15時
定員100人
費500円
場・申・問1月21日㈮（当日消印有効）までに、直接または往復はがきに「申し込み時の記載事項」（8頁）を書いて、帯広の森研修センター（〒080・0856南町南7線56番地、帯広の森運動公園内、☎48・8338）へ。

冬の高速道路の利用にあたりご協力ください

◆降雪時は早めの出発を
除雪車は作業中、時速20キロメートル程度の低速で走行します。追い越しはできません。除雪車に追いついた場合、除雪車が待避するまでの間、最大15分程度の追従走行をお願いします。

◆高速道路上は駐停車禁止です
路肩停車中の車両に後続車が接触する事故が発生しています。高速道路上は非常時以外は路肩も含めて駐停車禁止です。非常時に路肩に停車したときはハザードランプの点灯と三角板を設置してください。
問ネクスコ東日本帯広管理事務所（音更町字音更西2線、☎42・8151）

防災グッズ展　非常時に持ち出す道具や非常食など、家庭に備えておくといざというときに役立つ防災グッズを展示します。　**日**1月17日（月）～21日（金）、8時45分～17時30分　**場**市民ホール（市庁舎1階）　**問**総務課（市庁舎5階、☎65・4103）

情報ピックアップ

パブリックコメント（市民意見提出制度）
新たな学校給食調理場基本構想（案）にご意見をお寄せください

現在の学校給食共同調理場は、老朽化が進んでいるとともに、献立の充実、アレルギー対応食の提供、学校給食衛生管理基準への対応などが必要になっています。また、食育や地産地消など、学校給食に求められる役割も多様になってきています。

帯広の子どもたちに、安全・安心でおいしい学校給食を安定的に提供するため、新たな学校給食調理場基本構想を策定しています。

基本構想（案）は、これまでに市議会や保護者など市民の皆さんからいただいたご意見を踏まえ、新たな学校給食調理場の整備に向けた考え方をまとめたものです。

基本構想（案）に対するご意見や、学校給食全般についてのご意見や要望をお寄せください。

◆基本構想（案）を閲覧するには

市ホームページ、広報広聴課（市庁舎3階）、情報室（市庁舎5階）、市内各コミセン、市民活動交流センター（ふじまるビル8階）、川西・大正支所、図書館、学校給食調理場建設担当（市庁舎8階）で公開します。

◆意見を提出するには

1月20日㈭までに、氏名、住所、意見の個所と内容を記入し、直接または郵送、ファクス、Eメールで、学校給食調理場建設担当へ提出してください。

▽詳細　学校給食共同調理場（学校給食調理場建設担当、〒080・8670　西5条南7丁目1番地、市庁舎8階、☎65・4208、F23・0161、✉lunch_build@city.obihiro.hokkaido.jp）

カメラルポ

「ふるさと給食週間」試食会
18人の参加者が「十勝の豚丼」「長イモすいとん汁」「ツブ入りスパゲティペスカトーレ」などを試食しました。（11月17日学校給食共同調理場）

高齢者パソコン体験講座
パソコンの操作から絵の描き方、インターネットの使い方を熱心に学びました。
（11月18日市庁舎）

フィギュアスケート体験教室
初心者を対象に転び方や氷の上での立ち上がり方を学び、滑れるようになりました。
（11月27日帯広の森スポーツセンター）

第４回国際文化祭
外国人留学生などによる、ガーナやブラジルなど各国の踊りや民族衣装のファッションショー、展示などが行われました。（11月28日森の交流館・十勝）

ふるさと見聞録

写真・文　児童会館指導員　溝口　和子

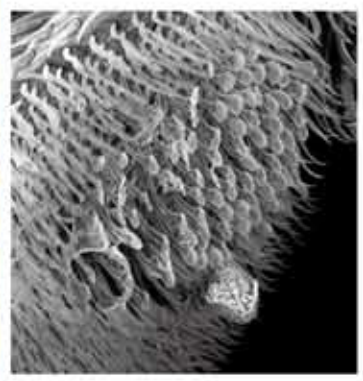
ミクロの世界
テントウムシ

テントウムシを捕まえたとき、指に黄色い液が付いたことはありませんか。これには強い異臭と苦味があります。この黄色い体液に出会った敵は、次から襲ってきません。そのために目立つ模様、色（警告色）で自分をアピールしています。

テントウムシが垂直なガラス窓を登っているのを見かけたことはありませんか。走査電子顕微鏡で足の先の部分をのぞいてみました。足の先には船のいかりのような爪があり、続いてブラシのような足構造があります。ブラシの毛先は針状のものと丸い円盤状になっているものがあります。５００倍で見るとその構造の差がよく分かります。

この円盤がガラスにくっつく吸盤の働きをしていると考えられています。ちょうどタコが足の吸盤を使って岩にくっつくように、テントウムシはこれらの吸盤を巧みに使って、ガラスのような平板でも登ることができるのでしょう。なお、円盤には分泌物はあまり認められません。

テントウムシの足の先（100倍）


ブラシのような足構造（500倍）

広報おびひろ・声の広報・点字広報　毎月1回発行

【市政放送番組】
◆テレビ　市役所だより（OCTV）
毎日9：55、13：55、17：55、19：55
※市ホームページからもご覧になれます。
◆ラジオ（毎週月・水・金曜日）
おびひろタウンインフォメーション
（FM-JAGA77.8MHz）9：15～9：20
おびひろ広報メモ
（FM-WING76.1MHz）9：30～9：35

【帯広市のホームページ】
パソコン http://www.city.obihiro.hokkaido.jp
携帯 http://www.city.obihiro.hokkaido.jp/i/

【帯広市東京事務所】
〒105・0003
東京都港区西新橋1-16-4ノアックスビル6F
電話03・3581・2415

休日・夜間の急病は
帯広市急病テレホンセンター　☎0155・26・1099
北海道救急医療情報案内センター　☎0120・208・699　携帯電話・PHS…☎011・221・8699
FAX情報案内 … FAX011・272・8699

●発行日/平成23年1月1日　●部数/79,000部　●制作・印刷/大同出版紙業㈱　●広告取扱/㈲モデル広告社
市民の広場3月号の掲載原稿締め切りは1月25日（火）です。内容や紙面の都合で掲載できない場合もあります。